

## Ⅱ 「自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間」を育てるために

### 施策の進捗状況

区分	施策名	年度				
		18	19	20	21	22
確かな学力の育成						
1	「学習チューター」派遣事業	準備	普通学級(小)等	普通学級(小・中)、発達障害児支援校		
2	「その道の達人」派遣事業	準備	モデル事業	達人の派遣		
3	社会人特別非常勤講師配置事業	継続実施				
4	授業名人活用推進事業	H18～ 小中学校で実施				
個性を生かし個性を伸ばす教育						
5	「学びネットあいち」学習コンテンツの充実	学習コンテンツの一層の充実				
6	地域の教育力向上のための活動促進事業	準備	モデル事業の実施			
7	総合学科及び普通科コース制の設置	総合学科設置、コース制設置				
8	「愛知版ｽｰﾊﾟｰﾊｲｽｸｰﾙ」の指定等	知と技の探検講座等、愛知版ｽｰﾊﾟｰﾊｲｽｸｰﾙの指定				
9	ステップアップハイスクールの設置準備	—	設置準備			
キャリア教育						
10	「あいち・出会いと体験の道場」推進事業	49.7%	87.2%	99.7%	100%	
11	県立高校におけるインターシップの推進	企業等の受入体制の整備、体験者の拡大				
12	人材育成コーディネート推進事業	—			9名	11名
13	リカレント教育推進会議	継続実施				
特別支援教育						
14	あいち発達障害者支援センターの充実	相談支援、発達支援等				
15	特別支援教育体制推進事業	連携協議会、巡回指導、研修の実施				
16	発達障害児童生徒対応通級指導教員の配置	7人	14人	24人	39人	73人
17	特別支援教育コーディネーター、特別支援教育指導員の配置	準備	7人	18人	20人：コーディネーター	
			3人	4人	5人：指導員	
18	県立特別支援学校いきいきプラン事業	—			社会人を補助職員として配置	
19	新設養護学校、高等部分校の整備	桃花校舎開校	みあい養護学校、本宮校舎整備	みあい養護、本宮校舎開校 尾張地区新設養護学校整備		
外国人児童生徒等への教育						
20	外国人学校の各種学校設置認可審査基準の緩和	H18～ 認可審査基準緩和				
21	多文化共生社会づくり推進事業	プレスクール等の継続実施				
		—	日本語学習支援基金創設・活用			
22	日本語教育適応学級担当教員の配置	継続	210人	251人	302人	294人
23	ポルトガル語等語学相談員の配置	ポルトガル語5人				
		—	スペイン語2人			
24	外国人生徒教育支援員設置事業	継続	10校	12校	14校	

\*平成20年度で終了した施策については記載を省略しています。

## 確かな学力の育成

子どもたちに、自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に行動し、問題を解決する力を身に付けさせるため、子どもたちが興味・関心をもつ分かりやすい授業と、それを支える教員の授業力を向上させる事業を実施し、市町村を支援していきます。

教員志望の大学生が教員の補助を行う、「学習チューター派遣事業」などの学習支援を実施し、基礎学力の定着を図りました。また、退職教員や地域の人材を活用して、子どもたちが興味・関心をもつ分かりやすい授業を展開しました。このほか指導実績のある教員経験者や大学教授などの持つ指導力を生かし、教員の授業力向上を図りました。

### 1 「学習チューター」派遣事業

#### 施策の概要

子どもたちに基礎的な学力や生活力を身に付けさせるため、教員志望の学生等を「学習チューター」として活用し、きめ細かな指導や障害のある子どもへの支援を進め、学習上のつまずきの解消や学習意欲の向上を図ります。併せて、学生の将来の教員としての資質向上にもつなげます。

#### 平成21年度の実施

- ・ 小学校：一宮市立神山小学校始め5校
- ・ 中学校：岩倉市立岩倉中学校始め5校
- ・ 発達障害児支援校（小中学校）：一宮市立南部中学校始め10校
- ・ 学習チューター派遣事業推進会議の開催  
事業の成果と課題について協議

#### (1) 取組の成果

児童生徒への支援では、教師と学習チューターが協力して支援を行うことで、一人一人の学習のつまずきがよくわかり、児童生徒の基礎的な学力の定着を図ることができた。そのため、児童生徒の学習意欲を高めることができた。

また、障害のある子どもへの支援については、学習チューターが子どもたちに優しく寄り添って指導したことで、子どもたちが安心し、落ち着いて学習することができた。

さらに、学生が子どもたちと接することで、教師となるための資質向上につなげることができた。

#### (2) 今後の課題・方向性

児童生徒をより効果的に支援するためには、教師と学習チューターによる事前事後の打ち合わせを充実させることが必要である。

また、学生の授業や教育実習等で時間の調整が難しい場合があり、学校が必要とする時間帯に学習チューターを派遣できるようにすることや、学生の予定に合わせて対応することなどについて、推進会議で協議を重ねていく必要がある。

## 2 「その道の達人」派遣事業

### 施策の概要

各分野の第一線で活躍する人材を「愛知県その道の達人」として小・中学校に派遣し、学級担任や教科担任等と協働して授業を行うことにより、児童生徒が通常の授業では触れることができない内容を知ったり、体験したりすることをおして、学ぶことの意義や楽しさを感じさせます。

### 平成 21 年度の取組

- ・「愛知県その道の達人」を 34 校に派遣  
手話の達人、似顔絵の達人、俳句の達人、かるたの達人、夢実現の達人 など
- ・推進会議の開催  
運用方針、達人の選定及び派遣校の決定について協議

### (1) 取組の成果

子どもたちが様々な分野の達人たちの技に触れることで、幅広く知的好奇心が刺激された。子どもたちからは「全ては夢から始まるということを教えてもらった。」という声があり、自らの強い思いをもって学習に取り組もうとする意欲がうかがえた。

また、達人からは「子どもたちの真剣な態度に勇気づけられた。」などの感想があった。



授業風景（似顔絵の達人）

### (2) 今後の課題・方向性

子どもたちの学習意欲を一層高めるために、教師と達人の事前打ち合わせを充実させるとともに、授業で高まった子どもたちの意欲を次につなげていくことが重要である。各小中学校が達人と教師による授業を教育課程に明確に位置付けることで、さらに本事業の効果を発揮すると思われる。

実施内容はWeb上で公開し広く内容を周知しているが、各学校での達人の活用を促進するため、学校と達人とが簡単に連絡調整できる人材バンク的機能をWeb上に設けることを引き続き検討していく必要がある。

### 3 社会人特別非常勤講師配置事業

#### 施策の概要

小中学校の教育において、体験的な学習の充実を図り、児童生徒の「生きる力」を育むために、教員免許は持たないが、各種分野において幅広い経験や優れた知識・技術をもつ地域の専門家や社会人を、特別非常勤講師として活用します。

#### 平成 21 年度の取組

教科等を担当する教員の指導計画に基づき、特別非常勤講師の専門分野の講義や実技指導などをおして、児童生徒の主体的・意欲的な学習の展開を図る。

小学校：156 校 延べ 206 人

総合的な学習の時間 米作り・野菜作り・環境学習・防災学習など  
クラブ活動 郷土芸能・茶道・手話など

教科等 水泳・書写・珠算など

中学校：69 校 延べ 71 人

総合的な学習の時間 異文化理解・情報の処理など

教科等 箏・三味線・剣道・柔道など

#### (1) 取組の成果

優れた技術指導による質の高い専門的な技術の獲得や、伝統や文化に関する教育の充実など、学習の内容が多様になった。「地域との絆や郷土に対する愛情を深め継承していこうとする気持ちが高まった」、「立派な野菜が収穫でき、大きな喜びを味わうとともに働く喜びを味わうことができた」など、優れた知識・技能による学習意欲の向上に対する報告があり、十分な効果を上げることができた。

#### (2) 今後の課題・方向性

各学校が、特色ある活動を進めていくため、実施教科や内容などについて学校のニーズに対応した人材の発掘が求められる。

また、限られた授業時間の中で、地域の人材をいかに効果的に活用し、授業を充実させることができるのか検討していく必要がある。

### 4 授業名人活用推進事業

#### 施策の概要

子どもたちに基礎的・基本的な学力を確実に身に付けさせ、「確かな学力」を育むためには、子どもたちの学習意欲を喚起させる「引きつける授業」「分かる授業」を展開する必要があります。

こうしたことから、指導実績のある教員経験者や大学教授等の「授業名人」を学校で継続的に活用して、模範授業を行ったり、指導技術を高

めるための研修を行ったりして、教員の授業力の向上を図るとともに、子どもたちの学習意欲を高めます。

#### 平成 21 年度の取組

- ・ 小学校推進校：刈谷市立亀城小学校始め 6 校
  - ・ 中学校推進校：蒲郡市立蒲郡中学校始め 4 校
- 蜂須賀渉愛知教育大学准教授（算数科研究授業等）始め 28 人

#### (1) 取組の成果

推進校から、「経験豊かな授業名人の先生と共に授業を創る経験は、自信にもなり、確かな授業力の向上につながった。」「教材提示の方法や発問の仕方、授業における教師の出、T・Tの授業への関わり方等について具体的な助言をいただいた。今までの授業を見直し、これらを積極的に取り入れながら、真摯に取り組む教師の姿が見られた。」といった感想が報告されており、授業名人を継続的に活用することで、教員の授業力の向上を図ることができた。また、子どもたちの学習意欲を高めることもできた。

#### (2) 今後の課題・方向性

推進校の取組を他校へ広める工夫をしていく必要がある。県では、推進校の取組を Web ページで公開しているが、その内容をさらに充実させていく必要がある。

また、経験の少ない教員に指導方法や指導技術、教材解釈や教材開発、授業分析や評価等の力量を高めていくには、指導実績のある教員経験者による指導が効果的であり、今後もこのような取組が継続的に行われる必要がある。

### 個性を生かし個性を伸ばす教育

生涯学習情報システムでは様々な分野にわたる豊富な学習コンテンツを提供するとともに、地域においてはシニア世代のグループによる社会活動参加を促進しました。

また、高等学校においては、生徒の興味・関心に応じた多様な学科、コース等の設置や「愛知スーパーハイスクール」の指定などを行いました。

## 5 「学びネットあいち」学習コンテンツ\*の充実

#### 施策の概要

県民の学習意欲の多様化・高度化に対応するため、県、市町村、大学等の生涯学習関係機関・団体が保有している学習案内情報や学習教材を、インターネットを通じて総合的に県民に提供します。

具体的には、講習会・イベント・資格取得などに関する学習案内情報、大学の公開講座の講演録、無形民俗文化財・民話の動画、美術館・博物

館の所蔵資料等を提供します。

### 平成 21 年度の取組

公開講座・講演録を始めとする学習コンテンツ数やその内容について、充実を図るとともに、公共団体や生涯学習関係団体、博物館、公民館など、生涯学習情報の提供機関の「学びネットあいち」への新規加入についても、様々な場面で広報するなどの取組を行った。

\*コンテンツ：

Web サイトや CD-ROM、DVD などの媒体で閲覧できるテキストや静止画、動画、音楽、音声といった情報全般のこと

### (1) 取組の成果

情報内容について、「幼児教育・家庭教育」、「次世代育成などの児童福祉」、「高齢者教育・高齢者福祉」など社会状況の変化に対応した情報の提供をさらに充実させるとともに、伝統文化（特に歌舞伎）



「学びネットあいち」トップページ（一部）

や人権教育教材など、社会のニーズに対応したコンテンツの充実にも努め、21年度は約442万件のアクセスがあった。

また、情報の提供機関についても20年度末の1,346機関から21年度末には1,355機関に増加した。

### (2) 今後の課題・方向性

高度情報化社会の中で、学習コンテンツの充実などにより、アクセス件数やリピーター件数の増加を図ることで、持続的・継続的な生涯学習情報の発信をする必要がある。また、学習情報登録方法の簡素化を図ったり、情報内容を見やすくするなど、利用する側に立った改善を進めていく必要がある。

## 6 地域の教育力向上のための活動促進事業

### 施策の概要

生涯学習の拠点である公民館等において、いわゆる団塊世代をはじめとするシニア世代を地域の教育活動に参画させるモデル事業を行い、地域社会における人間関係を再生し世代間交流を促すことで、地域教育力の活性化や規範意識の醸成をめざします。

### 平成 21 年度の取組

- ・モデル事業の委託先：

愛西市シニア教育実行委員会(愛西市)、ほっこりサロン実行委員会(豊田市)、大空飛翔教室実行委員会(田原市)、橘丘里山づくり推進委員会(蒲郡市)

- ・事業成果報告会「シニア世代まちづくりフォーラム」を開催

期日、場所：平成22年2月2日、岡崎市図書館交流プラザ 参加者178人

内容：ほっこりサロン実行委員会の実践内容発表

### (1) 取組の成果

委託先の公民館を拠点として活動するシニア世代のグループによる地域のボランティア活動、異世代交流等の地域づくりにつながる活動が展開された。



いも大学 いもの収穫

シニアと子どもたちが関わる世代間交流の活性化や、シニア自身の意欲が喚起されたことなどが報告された。

事業成果をもとに啓発リーフレットを4,000部作成し、県内各市町村社会教育関係者、公民館等へ配布し、事業成果の普及啓発に努めた。

### (2) 今後の課題・方向性

各地域における世代間交流と地域による子育て支援を推進するためには、シニア世代が子どもと関わるモデル事業をさらに多くの市町村で実施するとともに、シニア世代が子どもだけでなく、親世代や青年世代等とも関わる地域活動を推進する必要がある。

## 7 総合学科\*及び普通科コース\*制の設置

### 施策の概要

県立高校に、生徒の様々な興味・関心に応じた多様な学科、コース等の設置を進めます。

### 平成21年度取組

- ・総合学科の設置：瀬戸北高校（1学年6学級、人文探究、自然探究、国際教養、福祉理解、情報創造、健康科学、生活科学の7つの系列を設置）
- ・普通科コースの設置：尾西高校（情報活用コース）、加茂丘高校（自然科学コース）、春日井高校（コスモサインエンスコース）

\*総合学科：

普通科と専門学科の教育内容を併せもち、選択科目のグループから、自分の興味・関心や目標とする進路希望に応じた科目を選択し、学習することができる。

\*普通科コース制：

普通科高校において、普通教科・科目を学びながら、情報、福祉、外国語などの専門科目を学ぶことができる。

### (1) 取組の成果

総合学科については、その設置により、生徒の幅広い学習ニーズや多様な進路希望に対応できるようになり、生徒の満足度が高まっている。

取得できる資格\*や専門的な知識・技能を生かした進路選択をする生徒や、選択科目の履修を契機として興味・関心を抱いた進路を希望する者が増加している。そのため、各学校においては、大学、短大、専門学校、就職等を含め、進路先が多様化している。

また、普通科コースについては、目的意識をもった生徒が多く入学し、意欲的に取り組む生徒が増加している。新たに設置した外国語教育や異文化に関するコース及び理数系のコースを核として、新たな学校づくりに取り組む姿勢が見られるようになり、活力が増している。

\*取得できる資格：簿記検定、トレス検定、カーコーディネータ検定、英語検定、その他専門学科で取得できる資格

### (2) 今後の課題・方向性

総合学科については、21年度で設置目標を達成することができた。今後は、社会情勢を踏まえた選択科目を設定するなど、教育課程の一層の工夫をしていく必要がある。さらに、総合学科や普通科コース設置にかかるこれまでの成果と課題等を検証しながら、新たな総合学科の設置について検討する必要がある。

総合学科設置校

学校名	所在地	設置年度
岩倉総合高等学校	岩倉市	平成11年度
蒲郡高等学校	蒲郡市	平成15年度
鶴城丘高等学校	西尾市	平成16年度
杏和高等学校	稲沢市	平成17年度
知多翔洋高等学校	知多市	平成17年度
南陽高等学校	名古屋市港区	平成19年度
豊田東高等学校	豊田市	平成19年度
岡崎東高等学校	岡崎市	平成20年度
瀬戸北高等学校	瀬戸市	平成21年度

## 8 「愛知版スーパーハイスクール」の指定等

### 施策の概要

より高度な知識・技能等を習得するとともに、魅力と特色ある県立高校づくりをより一層進めるために、「愛知版スーパーハイスクール」の指定などを進めます。

### 平成21年度取組

- 知の探究講座：名古屋大学始め6講座（参加者105人）
- 技の探究講座：豊田自動織機始め5講座（参加者43人）
- スーパーハイスクールの指定
  - ・教育課程研究：